



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月7日

上場会社名 市光工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7244 URL <http://www.ichikoh.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) オードバディ アリ
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 高森 正樹 (TEL) 0463-96-1442
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 平成28年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|---|-------|-------|------------------|--------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 50,874 | 5.0 | 1,110 | — | 1,055 | 360.7 | 1,261 | — |
| 28年3月期第2四半期 | 48,433 | 10.9 | 93 | — | 229 | △65.1 | 0 | △100.0 |

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △577百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △1,383百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期第2四半期 | 13.15 | — |
| 28年3月期第2四半期 | 0.00 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 29年3月期第2四半期 | 90,725 | 22,753 | 23.8 |
| 28年3月期 | 92,232 | 23,578 | 24.0 |

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 21,562百万円 28年3月期 22,117百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期 | — | 1.50 | — | 1.50 | 3.00 |
| 29年3月期 | — | 1.50 | | | |
| 29年3月期(予想) | | | — | 1.50 | 3.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 110,000 | 7.7 | 3,300 | 35.8 | 3,600 | 19.7 | 4,100 | 63.7 | 42.73 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 29年3月期2Q | 96,220,851株 | 28年3月期 | 96,036,851株 |
| 29年3月期2Q | 147,478株 | 28年3月期 | 145,522株 |
| 29年3月期2Q | 95,943,356株 | 28年3月期2Q | 95,894,628株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は実施中です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、国内消費は景気先行きの不透明さから総じて低調に推移しており、外需についても、円高傾向の持続や中国経済の減速などにより輸出が伸び悩んでおり、全体として景気動向は引続き低調に推移しました。世界経済においては、米国は個人消費の増加から比較的堅調な一方で、アセアンなど新興国では成長鈍化が継続し、中国も景気動向は低水準となりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、国内では、燃費不正に関連した生産停止や熊本地震等によるマイナス面はあったものの、新車効果等により前年並みの国内生産台数を維持しました。アセアンでは、マレーシアは景気後退や自動車ローンの条件厳格化などから減少しましたが、タイは国内市場の回復、インドネシアはマクロ経済改善傾向などから増加となり、アセアン3カ国の合計では増加となりました。また、中国については、2015年に開始した小型車向け減税策もあり増加となりました。

このような環境の下、当社グループは、強固な企業体質を目指し、売上拡大に加え利益確保を最優先にグループ一丸となって、より一層の経費低減をはじめ、あらゆる合理化に取り組んでまいりました。その結果、売上高は好調な国内受注増やアセアンの海外子会社の業績回復を主因に前年同期比で増収増益となり、当第2四半期連結累計期間において、売上高は50,874百万円(前年同期比5.0%増)、営業利益は1,110百万円(前年同期比1,082.2%増)、経常利益は1,055百万円(前年同期比360.7%増)、また親会社株主に帰属する四半期純利益は1,261百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業

自動車部品事業におきましては、好調な国内受注増を主因に増収増益となり、売上高は47,059百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は1,319百万円(前年同期比719.0%増)となりました。

② 用品事業

用品事業におきましては、アフターマーケット市場の低迷から減収となり、売上高は3,633百万円(前年同期比12.2%減)、営業損失は236百万円(前年同期は営業損失37百万円)となりました。

③ その他事業

その他事業におきましては、売上高は928百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は4百万円(前年同期は営業損失51百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期末における総資産は90,725百万円となり、前期末比1,506百万円の減少となりました。主な要因は、設備投資により有形固定資産が全体で3,024百万円増加しましたが、その設備代金の支払等に伴い現金及び預金が4,208百万円減少したこと等によるものであります。

負債は67,972百万円となり、前期末比681百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金(1年以内返済予定分を含む)の減少2,111百万円、短期借入金の増加1,070百万円等であります。

純資産は22,753百万円となり、前期末比824百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,118百万円増加した一方で、為替換算調整勘定の減少が1,687百万円生じたこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動の結果獲得した資金は5,330百万円(前年同期比は2,568百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益843百万円、減価償却費3,393百万円及び売上債権の減少1,882百万円等であり、主な減少要因は棚卸資産の増加604百万円等であります。

投資活動の結果使用した資金は5,896百万円(前年同期比は1,546百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出7,076百万円、有形固定資産の売却による収入1,303百万円等によるものであります。

財務活動の結果支出した資金は3,330百万円(前年同期比は1,527百万円の支出)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出2,511百万円、リース債務の返済による支出2,016百万円、短期借入金の純増額1,070百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、「平成28年3月期決算短信」発表時(平成28年5月13日)の予想を変更しております。詳細は、本日公表しました「平成29年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報並びに合理的であると判断する一定の情報に基づいております。実際の業績は、様々な要因により異なる結果となる可能性がありますので、ご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「固定資産賃貸料」は営業外収益の総額の100分の20以下となったため、「営業外費用」の「固定資産賃貸費用」は営業外費用の総額の100分の20以下となったため、当第2四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示しております。

上記の表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」に表示しておりました「固定資産賃貸料」20百万円及び「営業外費用」に表示しておりました「固定資産賃貸費用」10百万円は、それぞれ「営業外収益」及び「営業外費用」の「その他」に組替えて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「環境対策引当金の増減額」については金額的重要性が乏しくなったため、当第2四半期連結累計期間においては「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「環境対策引当金の増減額」に表示しておりました△0百万円は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に組替えて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 17,182 | 12,973 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,326 | 16,994 |
| 電子記録債権 | 1,797 | 845 |
| 商品及び製品 | 3,698 | 3,933 |
| 仕掛品 | 483 | 525 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,988 | 3,176 |
| 繰延税金資産 | 72 | 597 |
| その他 | 2,368 | 4,346 |
| 貸倒引当金 | △151 | △189 |
| 流動資産合計 | 46,767 | 43,204 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 9,068 | 9,827 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 7,553 | 8,920 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 2,409 | 2,633 |
| 土地 | 3,424 | 3,391 |
| リース資産（純額） | 5,557 | 5,900 |
| 建設仮勘定 | 3,439 | 3,805 |
| 有形固定資産合計 | 31,454 | 34,479 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 906 | 701 |
| その他 | 1,383 | 1,305 |
| 無形固定資産合計 | 2,290 | 2,007 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 5,125 | 4,928 |
| 長期貸付金 | 1,303 | 1,066 |
| 繰延税金資産 | 238 | 244 |
| その他 | 5,060 | 4,801 |
| 貸倒引当金 | △7 | △6 |
| 投資その他の資産合計 | 11,719 | 11,034 |
| 固定資産合計 | 45,464 | 47,521 |
| 資産合計 | 92,232 | 90,725 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 20,345 | 20,312 |
| 短期借入金 | 1,158 | 2,228 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 5,058 | 5,040 |
| リース債務 | 3,228 | 3,560 |
| 未払法人税等 | 321 | 160 |
| 未払費用 | 2,128 | 2,590 |
| 賞与引当金 | 1,774 | 1,708 |
| 役員賞与引当金 | 52 | 31 |
| 製品保証引当金 | 1,262 | 1,144 |
| その他 | 2,543 | 2,817 |
| 流動負債合計 | 37,874 | 39,595 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 16,317 | 14,224 |
| リース債務 | 3,663 | 3,642 |
| 繰延税金負債 | 827 | 738 |
| 退職給付に係る負債 | 9,775 | 9,576 |
| 資産除去債務 | 182 | 182 |
| 環境対策引当金 | 9 | 9 |
| その他 | 2 | 2 |
| 固定負債合計 | 30,779 | 28,376 |
| 負債合計 | 68,653 | 67,972 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 8,929 | 8,955 |
| 資本剰余金 | 2,708 | 2,735 |
| 利益剰余金 | 11,509 | 12,627 |
| 自己株式 | △34 | △35 |
| 株主資本合計 | 23,112 | 24,282 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,423 | 1,284 |
| 繰延ヘッジ損益 | △12 | △9 |
| 為替換算調整勘定 | △1,560 | △3,247 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △846 | △747 |
| その他の包括利益累計額合計 | △995 | △2,719 |
| 非支配株主持分 | 1,460 | 1,190 |
| 純資産合計 | 23,578 | 22,753 |
| 負債純資産合計 | 92,232 | 90,725 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|---------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 48,433 | 50,874 |
| 売上原価 | 39,349 | 40,818 |
| 売上総利益 | 9,084 | 10,055 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,990 | 8,945 |
| 営業利益 | 93 | 1,110 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 19 | 43 |
| 受取配当金 | 106 | 92 |
| 持分法による投資利益 | 396 | 391 |
| その他 | 207 | 53 |
| 営業外収益合計 | 731 | 580 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 174 | 192 |
| 為替差損 | 386 | 402 |
| その他 | 35 | 41 |
| 営業外費用合計 | 595 | 636 |
| 経常利益 | 229 | 1,055 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 6 |
| 特別利益合計 | 2 | 6 |
| 特別損失 | | |
| 和解金 | — | 187 |
| 固定資産除売却損 | 61 | 30 |
| 特別損失合計 | 61 | 218 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 169 | 843 |
| 法人税等 | 237 | △420 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △67 | 1,263 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △67 | 1 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 0 | 1,261 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日) |
|-------------------|---|---|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △67 | 1,263 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △605 | △139 |
| 為替換算調整勘定 | △1,024 | △1,019 |
| 繰延ヘッジ損益 | 70 | 2 |
| 退職給付に係る調整額 | 151 | 99 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 93 | △784 |
| その他の包括利益合計 | △1,315 | △1,841 |
| 四半期包括利益 | △1,383 | △577 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △1,094 | △462 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △288 | △115 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 169 | 843 |
| 減価償却費 | 2,884 | 3,393 |
| のれん償却額 | 109 | 87 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 104 | △59 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | △175 | △113 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △78 | △70 |
| 受取利息及び受取配当金 | △126 | △136 |
| 支払利息 | 174 | 192 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △396 | △391 |
| 固定資産除売却損益(△は益) | 59 | 24 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △114 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 576 | 1,882 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △36 | △604 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △63 | 262 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 217 | 70 |
| その他 | △576 | 326 |
| 小計 | 2,728 | 5,709 |
| 利息及び配当金の受取額 | 219 | 116 |
| 利息の支払額 | △174 | △185 |
| 法人税等の支払額 | △205 | △309 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,568 | 5,330 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △6 | △6 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,868 | △7,076 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 3,190 | 1,303 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △16 | △59 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 151 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △10 | △9 |
| その他 | 12 | △50 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,546 | △5,896 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △1,006 | 1,070 |
| 長期借入れによる収入 | 2,999 | 400 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,620 | △2,511 |
| セール・アンド・リースバックによる収入 | — | 25 |
| リース債務の返済による支出 | △1,726 | △2,016 |
| 配当金の支払額 | △143 | △143 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △30 | △154 |
| その他 | △1 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,527 | △3,330 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △109 | △317 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △614 | △4,214 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 10,086 | 17,164 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 9,472 | 12,949 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|--------|------------|--------|
| | 自動車部品 | 用品 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 44,153 | 3,702 | 47,856 | 577 | 48,433 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 4 | 437 | 442 | 320 | 762 |
| 計 | 44,157 | 4,140 | 48,298 | 897 | 49,196 |
| セグメント利益又は損失(△) | 161 | △37 | 123 | △51 | 71 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----|
| 報告セグメント計 | 123 |
| 「その他」の区分の利益 | △51 |
| セグメント間取引消去 | 22 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 93 |

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|---------|-------|--------|------------|--------|
| | 自動車部品 | 用品 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 47,056 | 3,161 | 50,218 | 655 | 50,874 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2 | 471 | 474 | 272 | 746 |
| 計 | 47,059 | 3,633 | 50,692 | 928 | 51,621 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,319 | △236 | 1,083 | 4 | 1,087 |

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車用電球製造販売事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,083 |
| 「その他」の区分の利益 | 4 |
| セグメント間取引消去 | 23 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,110 |